

栄養管理システム一式リース仕様書

この仕様書は、島根県済生会江津総合病院を(甲)、受託者を(乙)とし、島根県済生会江津総合病院の栄養管理システム一式リースに関し必要な事項を定める。

I. 病院概要

所在地 島根県江津市江津町 1016-37

施設名 社会福祉法人恩賜財団済生会支部 島根県済生会江津総合病院

規模 許可病床数 300 床 (稼働病床数 220 床)

※平成 30 年 4 月現在

II. 契約名

栄養管理システム一式リース契約

III. 契約期間

平成 30 年 11 月 1 日～平成 35 年 10 月 31 日

ただし、新たに受託する業者は平成 30 年 10 月 31 日までの間に現受託業者による引継ぎを受けること。

また、その際には引継ぎ完了報告書を提出すること。

なお、引継ぎにかかる費用は新たに受託する業者の負担とする。

IV. 仕様内容

《1》リース物件及び構成内訳

①【栄養管理システム】 『MEDIC DIET Ver.8』 仕様詳細

1 給食管理システム

1.1 全般

1.1.1 共通

1.1.1.1 一画面のみで容易に検索できること。

1.1.1.2 帳票類の出力前に全体または一部分の画面表示 (プレビュー) ができること。

1.1.1.3 同一の業務を複数端末で操作できること。

1.1.1.4 日付入力カレンダーから指示ができること。

1.1.1.5 個人献立に対応できること。

- 1.1.1.6 帳票毎に印刷プリンターの設定ができること。
- 1.1.1.7 帳票の印刷順番をパターン登録できること。
- 1.1.1.8 献立関連・材料関連の帳票が EXCEL で出力できること。
- 1.1.1.9 マウスでもキーボードでも殆ど同じ操作が行えること。
- 1.1.1.10 ガイドメッセージが表示されること。
- 1.1.1.11 コード入力時に、ダブルクリックによる検索ができること。
- 1.1.1.12 帳票類の出力前の画面表示（プレビュー）機能にて、印刷倍率の変更が行え、倍率の変更とともに、画面イメージが拡大縮小することができること。
- 1.1.1.13 複数の帳票パターンとして登録することができ、それを一括で印刷することができること。
- 1.1.1.14 複数の帳票パターンとして登録することができ、それを自動で印刷することができること。
- 1.1.1.15 取消操作時に、確認のメッセージボックスが表示されること。
- 1.1.1.16 操作画面からマニュアルを表示することができること。
- 1.1.2 セキュリティ
- 1.1.2.1 利用者管理ができること。（ログオン管理、利用者使用機能制限、業務ログ管理）
- 1.1.2.2 INI ファイルやレジストリの書き込みが出来なかった場合、エラーメッセージが表示されること。
- 1.1.2.3 データを更新した際、更新者、更新日時、更新端末の情報を保持することができること。
- 1.1.2.4 アプリケーションの操作、画面上の指定内容等のログを保持する事ができること。
- 1.1.2.5 アプリケーションの操作、画面上の指定内容等のログを保持する出力先フォルダ、保存日数の設定ができること。
- 1.1.3 メニュー画面
- 1.1.3.1 メッセージボードにて連絡事項の表示ができること。
- 1.1.3.2 お気に入りメニューをユーザー毎に 70 個以上登録できること。
- 1.1.3.3 画面 ID の入力により各画面にショートカットできること。
- 1.2 献立管理
- 1.2.1 献立編集
- 1.2.1.1 献立の登録、変更、複写ができること。

- 1. 2. 1. 2 1 画面で複数食種、複数日の献立編集ができること。
- 1. 2. 1. 3 1 画面で料理、食品の追加、変更、削除が容易にできること。
- 1. 2. 1. 4 マウスを使用して料理、時、日の献立を複写、移動、入れ替えができること。
- 1. 2. 1. 5 1 画面で料理マスタの編集ができること。
- 1. 2. 1. 6 料理、食品の検索ができること。
- 1. 2. 1. 7 選択した食品が使用されている料理の一覧が表示されること。
- 1. 2. 1. 8 献立を編集しても実際のデータへ影響を与えない献立参照機能があること。
- 1. 2. 1. 9 日本食品標準成分表 2015 年版(七訂)に対応していること。
- 1. 2. 1. 10 1 食種 6 回食(朝・昼・夕・10 時・15 時・夜食)の登録ができること。
- 1. 2. 1. 11 1 献立当たり 15 料理構成まで登録ができること。
- 1. 2. 1. 12 1 料理当たりの構成が 36 食品まで登録ができること。
- 1. 2. 1. 13 編集画面にて、料理の名称を編集できること。
- 1. 2. 1. 14 編集画面にて、料理の食品使用量を%で変更できること。
- 1. 2. 1. 15 アミノ酸、脂肪酸組成表の表示ができること。
- 1. 2. 1. 16 他の日付の献立を参照しながら作成できること。(献立参照機能)
- 1. 2. 1. 17 他の献立で編集された料理内容を再利用することができること。(献立検索機能)
- 1. 2. 1. 18 献立金額の参照ができること。生鮮食品は最新の納品データの単価を参照すること。(金額参照)
- 1. 2. 1. 19 院内約束食事箋と比較参照しながら作成できること。(成分比較機能)
- 1. 2. 1. 20 指定された期間の平均成分のグラフをみながら、献立を作成できること。
- 1. 2. 1. 21 選択食の組み合わせによる栄養価を参照することができること。(成分参照機能)
- 1. 2. 1. 22 以下の各種複写機能があること。(献立編集複写、実施サイクル献立間複写、献立期間複写)
 - ① 一食種より任意設定食種への複写できること。 その際、複写率設定ができること。
 - ② 食種毎に一括複写ができること。
 - ③ サイクルメニューよりの一括複写 (日別・期間指定別・特別) が

- できること。
- ④一食種より日付範囲を指定して、任意の日付・食種へ献立データの複写ができること。
1. 2. 1. 23 献立作成時に実施期間内又は切替え時等（期間指定）に同一食品（指定食品）又は同一料理（指定単品又は料理グループ）の重複を自動的に検索して、献立作成時に重複日と料理を示す機能があること。（切替え時期又は前後の献立の重複が避けられる）
1. 2. 1. 24 同一料理及び同一料理グループに重複がある場合は同時に調べることができること。
1. 2. 1. 25 他食種の献立内容と照らし合わせながら献立を作成することができること。
1. 2. 1. 26 献立作成で、以下のことができること。
- ①変更食種を任意設定し食品、料理を一括変更又は食品分量、仕込み指示も同時に変更できること。
- ②食品又は料理の一括追加できること。
- ③食品又は料理の一括削除ができること。
1. 2. 1. 27 食品毎に仕込みコメントが任意入力できること。
1. 2. 1. 28 選択食献立1食種9メニューまで対応できること。
1. 2. 1. 29 代替献立の登録ができること。
1. 2. 1. 30 個人献立（禁止・アレルギー患者）の作成ができること。
1. 2. 1. 31 複数個人献立編集（7日間）画面にて、個人献立の編集ができること。
1. 2. 1. 32 個人献立患者・代替献立患者を一覧で印刷できること。
1. 2. 1. 33 以下の献立、サイクル献立内容一括処理機能があること。
- ① 食品変更・修正・削除が処理できること。
- ② 料理変更・修正・削除が処理できること。
- ③ 料理を処理する場合は食品内容を同時に処理できること。
- ④ 食種を選択することができること。
1. 2. 1. 34 予定人数の設定が実数よりセットできること。
1. 2. 1. 35 献立作成の有無を期間範囲指定によって検索することができること。
1. 2. 1. 36 予定人数登録時、差分人数も登録することができること。
1. 2. 1. 37 献立編集集中に、料理名を変更することができること。変更した料理名は、マスタ更新されず変更を行った献立のみ有効となること。
1. 2. 1. 38 1画面で7日間分の献立編集が行えること。

- 1. 2. 1. 39 献立の作成日、更新日の情報が保存できること。
- 1. 2. 1. 40 食品、料理を検索する際、複数の条件を指定することができること。
- 1. 2. 1. 41 食品、料理を検索する際、成分値の条件を指定することができること。
- 1. 2. 1. 42 献立内容を CSV をはじめとする 13 種類の形式で出力をすることができること。(簡易データ作成)
(CSV, dBASE2, dBASE3, DIF, Excel, HTML, PSReport, SQLInsert, SYLK, Text, WKS, WK1, WMF)
- 1. 2. 1. 43 P/S 比、SMP 比、n-6/n-3 比を確認しながら献立を作成することができること。
- 1. 2. 1. 44 基準成分値の上限・下限を設定することができること。
- 1. 2. 1. 45 基準成分値の充足率をレーダーチャートグラフで確認しながら献立作成ができること。
- 1. 2. 1. 46 アラカルト献立の作成ができること。
- 1. 2. 1. 47 患者の主食指示内容に合わせて、自動で主食の代替ができること。
- 1. 2. 1. 48 主食の代替に対しても、代替献立・個人献立の対応ができること。
- 1. 2. 2 献立関連帳票
- 1. 2. 2. 1 以下の献立表を有すること。
 - ① 各 2, 3, 5, 6, 7, 9 連献立表 (全栄養成分表示)
 - ② 献立明細表
 - ③ 糖尿交換表
 - ④ 腎臓交換表
 - ⑤ 糖腎交換表
 - ⑥ 献立表 5 日間・献立表 7 日間
 - ⑦ 個人献立表 3 連
 - ⑧ 個人献立明細票
 - ⑨ 個人糖尿食献立表
 - ⑩ 個人腎臓食献立表
 - ⑪ 個人献立表 7 日間
 - ⑫ 代替献立表
- 1. 2. 2. 2 対象日付を期間指定ができること。
- 1. 2. 2. 3 対象食種の範囲指定ができること。
- 1. 2. 2. 4 出力対象の「時」を指定できること。
- 1. 2. 2. 5 選択食を印刷できること。(2, 3, 5, 6, 7 連、時別)
- 1. 2. 2. 6 仕込みコメントの印字の有無を選択できること。(2, 3, 5, 6, 7 連)

- 1. 2. 2. 7 時毎に改ページの指定ができること。(2, 3, 5, 6, 7 連)
- 1. 2. 2. 8 行間隔の指定ができること。(2, 3 連)
- 1. 2. 2. 9 フォントサイズの選択ができること。(時別)
- 1. 2. 2. 10 食品のグループ条件に「仕込み」が含まれていること。(9 連)
- 1. 2. 2. 11 以下のメニュー表を有すること。
 - ① 時別
 - ② 7, 8 日間
 - ③ 7 日間 (横)
 - ④ 8 日間 (横)
 - ⑤ 10, 11, 12 日間
 - ⑥ メニュー表 EXCEL 出力
 - ⑦ 個人献立表 3 連
 - ⑧ 16 日間
 - ⑨ 16 日 No2
 - ⑩ 月間 4 料理・7 料理
 - ⑪ 月間
- 1. 2. 2. 12 1 週間、1 ヶ月単位を「時」別に設定できること。(時別)
- 1. 2. 2. 13 間食印刷の指示ができること。(7, 8 日間)
- 1. 2. 2. 14 出力料理数の選択ができること。(7, 8 日間 : 5、7、9 料理)
- 1. 2. 2. 15 ワープロ入力ができること。(7, 8 日間)
- 1. 2. 2. 16 選択食の印刷指定ができること。(選択食 1~3 の組合せ印刷) (7 日間横、8 日間横、16 日 No2)
- 1. 2. 2. 17 印刷前の料理名の編集ができること。(16 日間、月間 4 料理・7 料理)
- 1. 2. 2. 18 通常食、間食印刷指示ができること。(16 日間)
- 1. 2. 2. 19 出力料理数を選択することができること。(月間 4 料理・7 料理)
- 1. 2. 2. 20 仕込表は材料分類グループによって出力指示ができ、食数を予定か実数か選択できること。
- 1. 2. 2. 21 調理作業表は料理出力条件の選択が可能であり (全料理、料理指定) 食数を予定か実数か選択できること。また、個人献立にも対応していること。
- 1. 2. 2. 22 調理指示表は各食毎に料理名、食品名、1 人量、総量、食種別の人数を出力できること。且つ、個人献立にも対応していること。
- 1. 2. 2. 23 表示使用量は可食または廃棄込みで指定できること。

- 1. 2. 2. 24 食品別使用料理一覧表が出力できること。
- 1. 2. 2. 25 食品別使用量一覧表が出力できること。
- 1. 2. 2. 26 検食簿の出力ができること。
- 1. 2. 2. 27 料理チェックリストが出力できること。
- 1. 2. 2. 28 現行の帳票レイアウトを引き継ぐ形で、給食日誌の出力ができること。
（間食を含めるか否かも選択可能）”
- 1. 2. 2. 29 喫食調査票の出力ができること。
- 1. 2. 2. 30 選択食メニューを料理画像付きで印刷があること。
- 1. 2. 2. 31 献立成分表にて時毎の成分値の合計を 16 日間一覧にして出力ができること。
- 1. 2. 2. 32 栄養出納、栄養月報、食品糧表の出力ができること。
- 1. 2. 2. 33 栄養出納、栄養月報等の栄養価計算は日本食品標準成分表 2015 年版
（七訂）を基準に算出できること。
- 1. 2. 2. 34 2015 年改定日本人の食事摂取基準に対応していること。
- 1. 2. 2. 35 個人献立に対応した帳票を有すること。（献立表、糖尿、腎臓交換表、
仕込カード、調理作業表、料理別食品仕込表）
- 1. 2. 2. 36 栄養年報の出力ができること。
- 1. 2. 2. 37 荷重平均成分値算出表の 1 年単位で出力できること。
- 1. 3 食数管理
 - 1. 3. 1 食事指示
 - 1. 3. 1. 1 患者属性登録ができること。（患者 ID、患者名、カナ名、性別、生年月日、身長、体重、住所、電話番号、主治医、ワープロコメント、入・退院日、ストレス係数、活動係数、リスク、推定身長、推定体重）
 - 1. 3. 1. 2 病棟、病室、配膳病棟、塩分制限、特食加算、食種、主食、主食量、栄養管理加算の登録ができること。
 - 1. 3. 1. 3 コメントが 99 項目、ワープロ入力コメントが 100 文字で 99 項目、禁止事項用コメントが 99 項目登録できること。
 - 1. 3. 1. 4 病態管理ができること。
 - 1. 3. 1. 5 カレンダー表示にて指示内容を確認できること。
 - 1. 3. 1. 6 食事履歴を期限に制限無く参照できること。
 - 1. 3. 1. 7 曜日ごとに指示ができること。
 - 1. 3. 1. 8 術後食（あがり食）のパターン登録ができること。
 - 1. 3. 1. 9 個別対応の献立を登録できること。

- 1.3.1.10 外泊・食止め・帰院指示がワンタッチで登録できること。
- 1.3.1.11 選択食のアンケート結果を一括登録できること。
- 1.3.1.12 選択食のアンケート結果をOCRで取り込むことができること。
- 1.3.1.13 アラカルトアンケート結果をQRコードリーダーを使用して登録できること。
- 1.3.1.14 外泊・食止・食種指示の一括指示ができること。
- 1.3.1.15 主食一括変更ができること。
- 1.3.1.16 調理作業表へ、キザミ・ミキサーの人数が個別に印字されること。
- 1.3.1.17 料理毎に喫食率を登録できること。
- 1.3.1.18 システムによる更新と、オーダーによる更新を判別する機能があり更新情報の詳細が確認できること。
- 1.3.1.19 診療科の情報を管理することができること。
- 1.3.1.20 配膳時間の情報を管理することができること。
- 1.3.1.21 入院中患者の検索では、以下の機能を有すること。
 - ①複数の条件で患者を抽出する事ができ、一覧で出力する事ができること。
 - ②名前を付けて複数の条件を保持することができること。
 - ③抽出結果を、CSV, TSV, XML形式でデータ出力する事ができること。
 - ④データ出力結果には検索条件を一緒に出力する事ができること。
 - ⑤データ出力項目は任意に変更する事ができ、変更結果を登録する事ができること。
 - ⑥利用者によってはデータ出力を制限する事ができること。
- 1.3.2 食数関連帳票
 - 1.3.2.1 以下の日次帳票を有すること。
 - ① 食数集計表（病棟別）
 - ② 主食集計表（食種別、病棟別）
 - ③ 配膳病棟別料理数一覧表
 - ④ コメント集計表（食種別、病棟別）
 - ⑤ 主食集計一覧表
 - ⑥ コメント集計一覧表
 - ⑦ 特記事項集計表
 - ⑧ 塩分指示集計表
 - ⑨ 患者別禁止コメント一覧表

- ⑩ 特室患者一覧表
 - ⑪ 加算食集計表
 - ⑫ 食事変更者リスト
 - ⑬ 食事変更者一覧
 - ⑭ 特室集計表
 - ⑮ 禁止コメント集計表
- 1.3.2.2 食数集計表、主食集計表、コメント集計表は病棟別、食種別等毎食ごとに出力できること。
- 1.3.2.3 食数集計表、主食集計表、コメント集計表は集計の範囲および食種の出力範囲の指定ができること。
- 1.3.2.4 食数集計表、病棟別食数集計表、食種別主食集計表は選択食区分ごとに集計できること。
- 1.3.2.5 主食集計一覧表、コメント集計一覧は数パターン出力ができること。
- 1.3.2.6 コメント集計表はコメントグループ毎に集計ができること。
- 1.3.2.7 禁止コメントは患者別に集計ができること。
- 1.3.2.8 加算食集計表が出力できること。
- 1.3.2.9 食事変更、入退院、欠食、外泊等の患者リストが毎食出力できること。
- 1.3.2.10 食事配膳表の出力ができること。
- 1.3.2.11 現行の帳票レイアウトを引き継ぐ形で、食札印刷ができること。
- 1.3.2.12 食札のレイアウト編集ができること。
- 1.3.2.13 食札のレイアウト編集結果を複数種類保持し、印刷時に指定できること。
- 1.3.2.14 食札に印刷する場合、文字の背景色の設定ができること。
- 1.3.2.15 患者盛付表の出力ができること。
- 1.3.2.16 患者盛付表は個人献立に対応していること。
- 1.3.2.17 以下の月次帳票を有すること。
- ① 食数集計表
 - ② 病棟別食数集計表
 - ③ 日別食数集計表
 - ④ 患者別給食一覧表
 - ⑤ 加算食集計表
 - ⑥ 延べ喫食者数集計表
 - ⑦ 患者別外泊・食止め一覧表

⑧ 入院基本料算定情報

- 1.3.2.18 患者別台帳の出力ができること。
- 1.3.2.19 選択食アンケート用紙の出力ができること。
- 1.3.2.20 選択食アンケートは病棟、患者名の印字ができること。
- 1.3.2.21 選択食アンケートは最大16日間までのメニュー表を印刷できること。
- 1.3.2.22 アラカルトアンケート用紙の出力ができること。
- 1.3.2.23 アラカルトアンケート用紙は、1料理最大5種類の印刷ができること。
- 1.3.2.24 年齢別荷重平均栄養所要量表の出力ができること。
- 1.3.2.25 2015年改定日本人の食事摂取基準に対応していること。
- 1.3.2.26 外泊患者、入院患者、退院患者一覧表の出力ができること。
- 1.3.2.27 予定食数集計表の出力ができること。
- 1.3.2.28 以下の年次帳票を有すること。

① 食数集計表

② 病棟別食数集計表

- 1.3.2.29 食札を印刷する際、印刷以降、変更のあった患者の差分のみを印刷する機能があること。
- 1.3.2.30 食札を印刷する際、食種・病棟などの複数の条件へ、AND・OR指定ができること。
- 1.3.2.31 食札を印刷する際、配膳時間を指定し印刷することできること。
- 1.3.2.32 食札を印刷する際、配膳Noを指定し印刷することできること。
- 1.3.2.33 食札を印刷する際、特別コメントを印刷できること。
(変換マスタの登録で共通コメントを特別コメントと分類する)
- 1.3.2.34 変更者一覧を印刷する際、印刷以降、変更のあった患者の差分のみを印刷する機能があること。
- 1.3.2.35 以下の帳票を印刷指定して一括で出力できること。
 - ① コメント集計表
 - ② 主食別食数集計表
 - ③ 食数集計表
 - ④ 料理数過不足一覧表
 - ⑤ 患者別食事配膳表
- 1.3.2.36 平成30年度診療報酬改訂に対応していること。

1.4 材料管理

- 1. 4. 1 発注
- 1. 4. 1. 1 生鮮食品は献立と予定人数から発注データを自動作成することができること。
- 1. 4. 1. 2 発注データの追加、削除、納品日の変更ができること。
- 1. 4. 1. 3 発注業者の振替えが食品毎にできること。
- 1. 4. 1. 4 発注データは一日または時毎に作成することができること。
- 1. 4. 1. 5 発注量を患者（5 グループ）と患者外（4 グループ）に分類して作成できること。
- 1. 4. 1. 6 発注先業者・納品日を指定した食品ごとに一括で変更できること。
- 1. 4. 1. 7 献立登録食品を変換して、別食品として発注データを作成することができること。（発注納品変換機能）
- 1. 4. 1. 8 献立登録食品を変換マスタを元に変換して、別食品として、分量を指定割合にて発注データを作成することができること。（献立食品変換機能）
- 1. 4. 1. 9 コメントに指定された食品を食事指示内容から発注データ作成時に自動作成することができること。
- 1. 4. 1. 10 発注データを編集する場合、間食（10 時、15 時、夜食）使用食品を、通常食（朝、昼、夕）として合算して発注データを自動作成することができること。
- 1. 4. 1. 11 発注データを編集する場合、マークにより、生鮮食品、在庫食品、準在庫食品の区別をつける事ができること。
- 1. 4. 1. 12 複数日（7 日間）の発注データを 1 画面で編集することができること。
- 1. 4. 1. 13 複数の食品を選択して、発注業者を変更することができること。
- 1. 4. 1. 14 複数の食品を選択して、特定の業者への発注のみを指定の業者へ変更することができること。
- 1. 4. 1. 15 複数の食品を選択して、納品日を変更することができること。
- 1. 4. 1. 16 複数の食品を選択して、特定の納品日のデータのみを指定の日付に変更することができること。
- 1. 4. 2 納品
- 1. 4. 2. 1 納品日ごとに使用食品のデータを作成できること。
- 1. 4. 2. 2 納品食品の追加、削除の編集ができること。
- 1. 4. 2. 3 納品単価、納品量の編集ができること。
- 1. 4. 2. 4 同一食品を複数回に分けて納品管理ができること。

- 1.4.3 在庫
 - 1.4.3.1 在庫食品の受け払い管理ができること。
 - 1.4.3.2 在庫食品の受け払いが作成できること。入出庫処理ができること。
 - 1.4.3.3 食品の棚卸し入力ができること。
- 1.4.4 材料関連帳票
 - 1.4.4.1 発注書は多数パターンから選択できること。
 - 1.4.4.2 発注一覧表の出力ができること。
 - 1.4.4.3 納品検収簿の出力ができること。
 - 1.4.4.4 払出伝票の出力ができること。
 - 1.4.4.5 払出伝票は食品区分（生鮮、在庫、準在庫、全食品）の選択、出力対象食品の選択ができること。
 - 1.4.4.6 業者別購入額一覧表が出力できること。
 - 1.4.4.7 食種別金額一覧表が出力できること。
 - 1.4.4.8 食種別金額比較表が出力できること。
 - 1.4.4.9 米など主食をグループ毎で食数を集計することができること。
 - 1.4.4.10 食品使用量一覧表が出力できること。
 - 1.4.4.11 食品使用量一覧表にて食品ごとの発注予定業者が確認できること。
 - 1.4.4.12 食品別購入一覧が期間指定で確認できること。
 - 1.4.4.13 発注書の FAX 送信が、システムからできること。
 - 1.4.4.14 発注書の印刷以降の発注量に対する差分一覧が印刷できること。
- 1.5 見積管理
 - 1.5.1 見積データ
 - 1.5.1.1 見積対象食品の見積データを契約期間ごとに作成することができること。
 - 1.5.1.2 契約期間は任意設定ができること。
 - 1.5.1.3 入札結果登録ができること。
 - 1.5.1.4 食品の規格設定ができること。 例) 精白米→規格：ササニシキ 牛肉→規格：3センチ角
 - 1.5.1.5 決定業者、予定単価の登録ができること。
 - 1.5.2 見積関連帳票
 - 1.5.2.1 単価契約品目内訳書の出力ができること。
 - 1.5.2.2 見積書の出力ができること。
 - 1.5.2.3 見積比較書の出力ができること。

- 1.5.2.4 請書・単価契約書の出力ができること。
- 1.6 衛生管理
 - 1.6.1 HACCPに基づいて食品、料理のCCP登録ができること。
 - 1.6.2 献立・納品データを基に温度管理データを作成することができること。
- 1.7 マスター関連
 - 1.7.1 食品マスター
 - 1.7.1.1 食品マスターへ、最終納品業者を情報として保持すること。
 - 1.7.1.2 食品マスターのデータを抜き取り、他のデータベースへ取り込むことができること。
 - 1.7.2 食種マスター
 - 1.7.2.1 食止、外泊、食事を任意のコードで作成できること。
 - 1.7.3 料理マスター
 - 1.7.3.1 料理毎にレシピを登録し、印刷、EXCEL出力ができること。
 - 1.7.3.2 料理マスター、料理レシピのデータを抜き取り、他のデータベースへ取り込むことができること。
 - 1.7.4 献立系マスター
 - 1.7.4.1 食種マスターへ、流動食算定区分を登録できること。
- 1.8 システム連携
 - 1.8.1 電子カルテシステムより、食事オーダー情報およびオーダー変更情報を受信すること。
 - 1.8.2 電子カルテシステムより、入院、転科・転棟・転室、退院等の患者移動情報を受信すること。
 - 1.8.3 主食・副食の喫食率情報を取り込むことができること。
 - 1.8.4 喫食率情報から患者が摂取した食事の成分値を出力できること。
 - 1.8.5 出力を行う成分値は指定できること。
 - 1.8.6 オーダー変換マスタの登録により、共通コメントを特別コメントとして食札へ反映できること。
- 1.10 データ移行
 - 1.10.1 既存の栄養給食システムから新システムに、全ての献立情報、食品情報、マスタを移行すること。

②【栄養管理システム】 ハードウェア機器構成

1	ESPRIMO D587/S (標準モデル) ※キーボードあり		
	OS:Windows10 Pro (64bit)	FMVD33001	1
2	CPU : Core i5-7600 (3.50GHz)	FMCPRC0E7	1
3	メモリ : 8GB (8GB×1)	FMCMEM0A9	1
4	HDD : 500GB(SATA) x2 (RAID1)	FMCHDD0K8	1
5	スーパーマルチ(薄型) FMCBAY06X		1
6	マウス→USBマウス(光学式)	FMCPTD03A	1
7	リカバリディスク+ドライブ+スチーキング+WinDVD (Windows10 Pro 64bit)		
		FMCRDD126	1
8	Microsoft Office Personal	FMCAPL039	1
9	21.5型ワイド液晶ディスプレイ	VL-E22-8T	1
10	高機能無停電電源装置 (Smart-UPS SMT750J)	PY-UPAT752	1
11	PowerChute Business Edition v9.1.1	B5140R56C	1
12	外付ハードディスク (USB接続 1TB) (Buffalo製)	HDX-LS1.0TU2	1

※ハードウェア機器の想定は、上記の構成とするが、同等もしくはそれ以上の機能を有するものを認める。

《2》その他

1. 守秘義務に関して乙は業務遂行中に知り得た病院および患者様などの情報を漏らしてはならない。
2. 緊急時に対応できる体制を有すること。
3. この仕様書に定めのない事項については甲乙協議の上決定すること。